

11月の予定		
1	水	音楽・運動・茶道
2	木	スイート・テトクツソ [※] (幼児)
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	YY
7	火	Enjoy English
8	水	音楽
9	木	
10	金	七五三お参り (うみ・たいよう)
11	土	★保護者懇談会
12	日	
13	月	
14	火	Enjoy English
15	水	音楽・運動・茶道
16	木	11・12月生誕生会
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	YY
21	火	Enjoy English
22	水	クリスマス会リハーサル① 音楽
23	木	勤労感謝の日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	クリスマス会リハーサル① 音楽
30	木	
31	金	

12月の主な予定

4日 クリスマス会リハーサル③
9日 クリスマス会
26～28日 年末特別保育(要申込)
29～30日 年末休暇(休園)
その他 避難訓練・身体測定

かのんだよい

平成29年

11月号

日が落ちる時間が早くなり、落ち葉も増え日に日に秋が深まってきました。早いもので今年も冬がすぐそこまでやってきたようです。

先日運動会、姉妹園すべてが別日での運動会でしたが、3週連続の雨天で全園が室内運動会になってしまいました。かのん保育園は開園以来初めての雨天運動会でしたが、六浦小学校さまのご協力を受け、無事体育館で行うことができました。私たち職員もとても不安でしたが、六浦小学校さんがたくさんの機器・用具を貸して下さい、また、前日から体育館を開放して下さいのおかげで、準備も運営も滞りなく行うことができました。保護者の皆さまからも、想像以上にこの体育館観覧が快適だったという声が多く寄せられました。六浦小学校さんは当たり前のように快く体育館を貸して下さいましたが、姉妹園での経験上、これは当たり前ではなく本当に有難いことなのだと存じております。この場を借りて改めて、六浦小学校の皆さま、大谷校長先生、打ち合わせの段階から対応して下さいした田中副校長先生、体育主任の藤本先生に感謝申し上げます。また、運動会当日は、高舟台小学校の金子校長先生、六浦小学校の田中副校長先生が来賓としていらして下さい、プログラムの最初から最後までご観覧下さいました。副理事長の倫代先生もこれには大変驚いており「かのんは本当に幸せね」としきりに言っていました。

そしてなんといっても子どもたち。素晴らしかったです。体育館でも変わらず力を発揮できる子どもたちに驚かされましたが、環境が変わってしまったことで戸惑っていた子も少なくありませんでした。やはり晴れた日は慣れた保育園で開催してあげたいと思いました。幼児クラスでは運動会後も子どもたちから運動会の話が出ることも多く、「もっとやりた～い!」と言われます。そんな姿を見ると、きっとお家でたくさん褒めてもらったんだろうなということが想像できます。これからの子どもたちの成長もまた保護者の皆様と共に大切に支えていきたいと思ひます。そしてアンケートのご提出ありがとうございます。職員の励みに、そして今後の参考にさせていただきます。

次は、クリスマス会! 子どもたちと楽しく準備していきたいと思ひます。

保護者懇談会 11月11日(土)

乳児クラス 9:00～10:30

幼児クラス 10:30～12:00

ビデオ上映では普段の保育園の生活の様子をご覧いただく予定です(10/18撮影済み)。懇談会では、保育中の様子をお伝えするとともに、困っていること、心配なこと、気になることなど出し合って、意見交換ができる場にしたいと思ひます。ご参加お待ちしております。

年末年始特別保育申込みについて

◆年末年始休暇(12/29～1/3)は、休園日となります。

◆年末特別保育: 12/26(火)～28(木)

年始特別保育: 1/4(木)～6(土)

上記期間は特別保育となりますので、ご事情がない限り家庭保育をお願いします。ご事情がある方は、事前申し込みをお願いします。申込み用紙は11月24日(金)からエントランスにお出しします。締切日 12月8日(金)までに園用ポストに入れてお申し込み下さい。

クリスマス会へ向けて【平成26年11月号かのかのんだよとほぼ同じ内容です】

今月から、クリスマス会に向けた練習が始まります。

（今回は主に幼児クラスの話になってしまうかもしれませんが、乳児クラスの保護者の方にも是非読んでいただけたらと思います。）

クリスマス会での発表の目的は、子どもの成長を見てもらうことです。ですから、そのために先生がみっちり教え込むことはしません。もちろん援助はしますが、子どもの普段のままの姿を見てもらうことを目標としています。というのも、先生の指示通りに動いて、しゃべって、全体がまとまって見えるのが成長だとは考えていないからです。かのかでの日常の生活そのまま、自分で考えて行動し、行動しながら考えて、さらに次の活動に挑戦していくという「ありのままの姿」を見ていただけたらと思っています。

では、何を成長と考えているのか。

私は、出来上がったものの良し悪しが問題なのではなくて、その練習・準備過程で、子どもがどれだけ楽しみ、自信をつけ、新しい経験をし、自主的に取り組む喜びを味わえたか、ということが成長につながる重要なポイントだと思います。子ども自身に満足があり、喜びがあり、自信がつき、次への意欲につながったとしたら、先生の指示通り間違わないでやれることより、数段その育ちが違ふと思うのです。

私たちは、そのポイントを大事にしながら、そして常に念頭に置きながら、クリスマス会の準備を進めていきたいと思っています。

次に、（もしかしたら、子ども達だけでなく、保護者の皆様の中にもナイーブになっている方がいらっしゃるかもしれない）『役決め』について。

「どうやって配役を決めているのか？」という質問を受けることがありますが、

その答えは、「子ども達と相談しながら決めます」「原則として、子ども達自身で決めます」

（※たいよう組の場合は、聖劇（ページェント）とクラス劇との双方の役のバランスを考慮しながら決めるため、その範囲内で保育士が介入することはあります）

配役一つをとってみても、人それぞれ、色々な思いで役を決めています。そして、立候補、他薦、互選、譲り合い、色々な方法によって自分たちで決めていきます。しかし、そうシンプルに上手くいくばかりではありません。

【やりたい役が他の子と被ってしまった場合】、これをどう解決するかが問題となります。意外に思われるかもしれませんが、この場合、子ども達自身で解決できることが圧倒的に多いです。話し合いであったり、うらみっこなしのジャンケンであったり、その時々の子どもの個性により解決する形は違いますが、意外にも爽やかに決着がつきます。

しかし稀に、子ども達自身で解決できない場合があります。この原因は今まで一つのパターンしか見たことがありません。それは「親の期待を背負っていると感じているため（意識下、つまり子ども自身がそのことに無自覚である場合もあります）引くに引けない子がいるケース」です。この場合は、私たちが介入せざるを得なくなってしまうのです（もちろん、「親の期待に応える」ということは、子どもの最上の願いであり、モチベーションでもあることは紛れもない事実なのですが…）。

「親の気持ちがわかってない！」と怒られてしまうかもしれませんが、どんな役になってもいいのです。前述のように、その役を練習する過程が（そして本番で披露することが）、その子の成長の機会にさえなってくれば。ですから、子どもの意欲のために私たちも配慮していきます。ストーリー上は地味な役でも、練習中の本人の意欲によっては、セリフを付け足したり、立ち回りを増やしたりもします（逆も然りです）。子ども自身から「こうすればいいんじゃないかな」「〇〇（役の名前）だったら、こういうときはこう言うんじゃないかな」等というアイディアが出てくことも珍しくありません。そういうアイディアによって台本は何度も書き換えられていきます。また、地味な役にこそ、衣装や小道具に工夫を凝らしたりもします。

苦労話をし始めたらキリがありませんが、子ども達には精いっぱい自分を発揮して欲しいと思っています。次にどんな成長を見せてくれるのか、本当に楽しみです。